

年度	平成16～18年度
----	-----------

基本目的 7 確かな学力と豊かな人間性をもった子どもが育つ

行動目標 7-2 子どもが心身ともに健やかに育つ

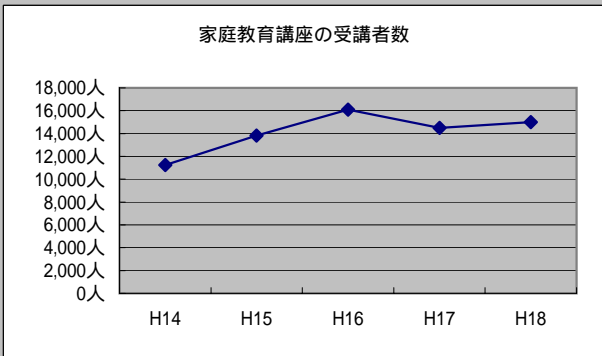
(所管課名 教育委員会社会教育課・青少年育成指導室)

任務 家庭や地域の教育力を高め、社会教育活動や青少年健全育成活動に取り組む

任務の成果・活動指標の推移

家庭教育講座の受講者数

H14実績	11,238人
H15実績	13,813人
H16実績	16,091人
H17実績	14,509人
H18目標	15,000人



子ども会児童加入率

H14実績	-
H15実績	81.6%
H16実績	(四) 78.1% (楠) 100.0%
H17実績	77.5%
H18目標	80.0%

「地域における青少年健全育成の推進」についての満足度

H14実績	-
H15実績	-
H16実績	-
H17実績	9.2%
H18目標	9.7%

指標の説明

家庭や地域の教育力を高めるため市P連等に委託している家庭教育講座に参加した保護者の述べ人数を指標とした。また、子どもたちが異年齢集団による遊びや体験活動を通じて社会性、強調性が養われる指標として、子ども会活動に参加する児童数の割合及び市民アンケート調査の地域活動支援にかかる満足度を指標とした。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

平成16年度は、市P連(82PTA)への家庭教育講座委託及び家庭教育講演会(市民会議との共催)を実施し、家庭教育の啓発に努めた。平成17年度は、市P連(86PTA)への家庭教育講座委託に加え、私立幼・小・中PTA(12PTA)への委託を実施した。また、家庭教育講演会に換えてCTYによる家庭教育啓発CM事業(市民会議との実行委員会方式)を実施し、広く市民への啓発を図った。子ども会児童加入率は、年々減少傾向にあるため、育成者協議会に対し、子ども会の意義の再認識、魅力ある活動づくりなど活性化を図るよう支援を行った。子ども読書活動推進事業については、策定会議等を経て推進計画を策定、平成17年度は、推進計画を受け計画推進会議及び庁内推進会議を開催し、絵本の読み聞かせ等の事業を行った。

平成18年度

平成17年度に家庭教育講座を受託しなかった私立幼・小・中PTA(7PTA)へ働きかける。平成18年度モデル事業「子どもの生活リズム向上プロジェクト」(文科省補助事業)による家庭の教育力向上の効果・分析・検証を行う。子ども読書推進計画の進捗状況の把握や検証を行うとともに、秋の読書週間に向けた次の事業を開催する。
・読み聞かせ技術向上研修会
・本のある町協力店モデル事業

これからの課題、施策等展開の方向性

家庭教育講座では、興味、関心のある講座テーマの設定や参加しやすい開催日時・会場の設置をPTAに働きかける。平成18年度に実施する「生活リズム向上プロジェクト」による検証結果を踏まえ、全市的な展開への検討。子ども会・育成者連絡協議会や子どもの体験活動を実践しているNPO法人等と連携し、青少年の集団活動や体験活動を支援する。子ども読書推進計画については、関係各課との連携や「人のネットワークづくり」を通じ、大人の意識を高める働きかけなどを推進する。